

7月12日 | 夢を乗せて出発進行

全国から注目を浴びる大井川鐵道(株)の「きかんしゃトーマス」出発式が、新金谷駅ホームで行われました。

式典では、市長などのあいさつやテープカットを実施。改札口が開かれると、市内外から訪れたたくさんの親子連れがトーマス号の周りで記念撮影を楽しんでいました。トップハム・ハット卿の合図で出発したトーマス号は、10月までの運行日に、新金谷駅・千頭駅間を1日1往復します。



7月12日 | 野菜でつながる地域の輪

道悦島公民館で、耕作放棄地や家庭菜園など地元で収穫された野菜を販売する「採れたて元気市」が開催されました。

この催しは「道悦島まちづくり委員会」が、活気あるまちづくりを目指して開催。さまざまな新鮮野菜が並んだ会場は、多くの地元住民でにぎわいました。今後も第2・4 土曜日^{あすまや}に開催される予定です。収益は、六合駅前トイレの清掃や東屋の建設など、同委員会の活動資金に充てられます。

しまだトピックス

「さわやかしまだ」が決定



7月19日、市観光協会主催の「さわやかしまだコンテスト」が行われ、新しい「さわやかしまだ」の3人(写真左から須部さん、坂本さん、高橋さん)が決定しました。

3人は、市内の観光名所・施設・特産品などを全国に向けて、積極的なPR活動を行います。9月21日(日)に開催される「島田髪まつり」では、髪姿を披露する予定。さわやかな笑顔で、一層盛り上げてくれることでしょう。





7月26日 | 平和への誓いを忘れない

扇町公園で、「島田空襲被爆者慰靈のつどい」が行われ、遺族など約100人が出席しました。

会場では黙とうを捧げた後、扇町在住の3人の代表者が、それぞれ平和の誓いを朗読。阿南花さん(島田第二小)は「平和に暮らせる毎日に感謝しながら、一日一日を大切に過ごしていきたい」と、平和の尊さを述べました。また、参列者全員で「海」を齊唱し、被爆者をしのびました。

7月26日 | 仲間と作る夏の思い出

晴れ渡る空の下、市内小学生27人が参加して「しまだガンバ!」恒例の大井川ゴムボート下りが行われました。

丹原から神座までの約7kmを、同乗する仲間と協力しながら川を下るもので、自然と触れ合う機会と共同体験の場の提供とともに、児童の連帯感や責任感を養うことが目的。参加した子どもたちは、手にしたオールを元気いっぱいに漕いで、大自然の中の冒険を満喫していました。



7月17日 | 守ろう花火のルール

金谷地区の幼稚園・保育園の園児約160人が、金谷消防署の「防火のつどい」に参加して、消防署員や女性消防団員から正しい火の取り扱いについて楽しく学びました。

「火遊びはしません」と宣言した園児たちは、花火を手に「花火は人に向けない」「終わったらバケツの中に」と言いながら、遊び方を確認。続いて、バケツリレーや消防車両との綱引きが行われ、力を合わせてがんばりました。